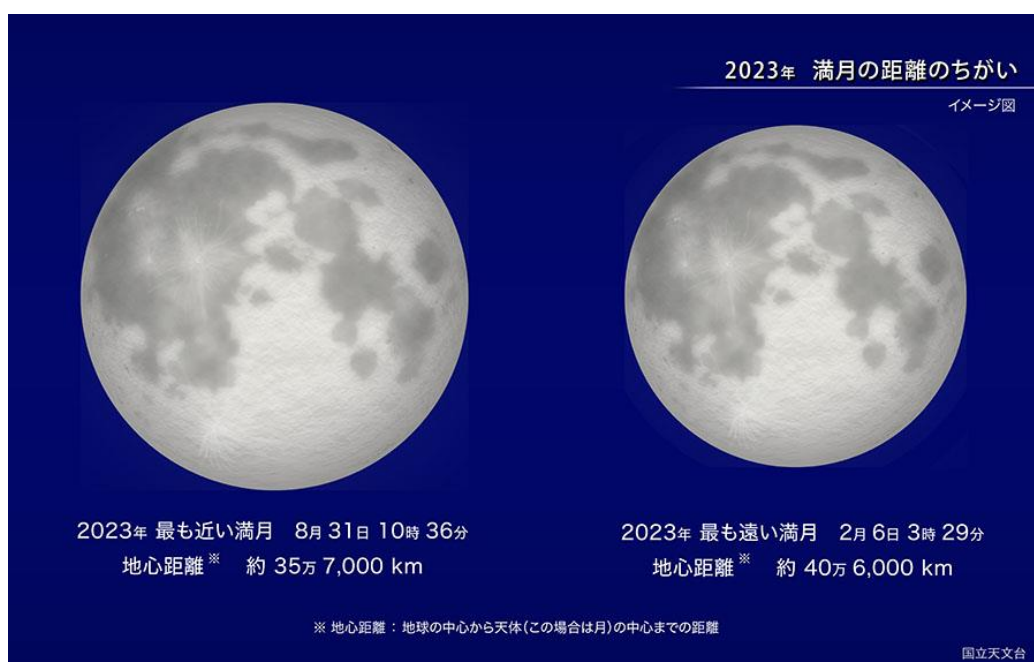


2月うぶやま天文台星空情報①



今年最小の ミニマムムーンを見よう

今回の星空情報1つ目は、2月6日（金）の今年最小のミニマムムーンの満月です。18時過ぎに東の空から昇ってくる満月は、今年最小のミニマムムーンとなります。最小の理由は、地球との距離が最も遠いからです。8月31日のスーパームーンと比較すると、スーパームーンは35万7千 km、ミニマムムーンは40万6千 km で、大きさはスーパームーンに比べてミニマムムーンは12%小さく、明るさは22%も暗くなります。比較する対象がないのでわかりにくいのですが、満月を見慣れた人なら幾分か小さく、少し暗いのが分かるかと思ます。普段は中秋の名月の時くらいでしか天文台で満月を見ることはないので、この機会にぜひご覧下さい。



地球から遠い満月、近い満月はなぜ起きるのか

地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしているため、地球と月の距離は常に一定ではありません。さらに、月の軌道は太陽や地球のなどの重力を受けて変化しています。そのため、満月や新月の時の距離は、図のように毎回異なります。